

風のてのひら

～南高だより No. 76～
平成30年12月21日発行
発行責任者：長崎県立五島南高等学校
校長 大川 周一

「校長室の窓から」

「己亥」はどんな年に

お正月にもらって嬉しいものに「お年玉」と「年賀状」があります。前者は、もちろん学生時代までの話ですが、後者は、手のひらほどの紙面の中に送り手の願いや思い、近況を知ることができます。また、その年に一度も連絡を取らなかった人でも、遠慮せずにとって近況などを伝えることができる素晴らしい情報ツールです。お世話になった方には勿論ですが、^{もちろん}遠方で暮らす友人、ご無沙汰して疎遠になりがちな方に対して1年に1回、自分や家族の近況を伝える機会として年賀状をしたためます。また、教え子から届く年賀状は格別に嬉しいもので、必ず一筆を添えて返信するように心がけています。とは言え、今年はだれに出そうか、何枚買えばいいのか、どんな絵柄にしようかなど暮れも押し迫るころになって、いつも頭を抱えているのが正直なところです。

ところで、日本郵便によると、年賀はがきの発行枚数は2003年の44億6千万枚をピークに漸次減り続け、2019年用は前年比で19.4%も減少したそうです。人口の減少、他人との付き合い方の変化、慣習に対する価値観の違いなどさまざまな理由が考えられますが、やはりインターネットやSNSの普及によるところが大きいのでしょう。通信手段の多様化によって、年賀はがきの利用が減少していくことは避けられないにせよ、若者の活字離れが加速し、日本の伝統文化がすたれていくことは寂しい限りです。

さて、2019年の干支は「己・亥（つちのと・い）」です。そもそも干支というのは、十干（甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸）と十二支（子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥）を順番に組み合わせたもので、十干において「きのえ（甲）」「きのと（乙）」…「つちのえ（戊）」「つちのと（己）」と陽陰に応じて「え」「と」の音が入ることに由来しています。干支の組み合わせは10と12の最小公倍数の60通りで、60年で一回りして再び生まれた年の干支にかえることが還暦ということになります。ちなみに1924年の甲子（きのえね）の年に完成したのが甲子園球場です。また、もともと十二支は、木星の公転周期が12年であることを利用した年月、時刻、方位を表すための任意の数詞で、今でも暦に使われています。まさに古代の人々の天体観測力と天文術には脱帽です。詳しくは知りませんが、現代の十二支は、中国は殷の時代に王充（おういつ）という人が民衆に十二支を浸透させるために、抽象的な数詞を覚えやすく馴染みやすい動物に置き替えたことが始まりだそうです。つまり、十二支の動物に込められた意味や格言は、ほとんどが後付けされたものですが、日本に干支が伝わって以来、昔の人々がその動物たちに様々な思いや願いを込めるようになって今に伝承されていることを考えると、いずれも縁起物だということでしょう。

十干の「己」は、生命のサイクルの六番目で精力が^{みなぎ}漲る時期を指し、同時に正しい姿の自分（おのれ）を表していると言われています。一方、十二支の「亥」はイノシシを指しますが、本来は猪の骨を表した象形文字で、そこから硬い、根ざす、^{きざ}兆すといった意味を持つようになったと考えられています。例えば「核」は、木の硬い部分を表すことから物事の中心という意味で使われています。このように「己亥」とは、自分の中心にエネルギーが漲り、次の段階へとステップアップする絶好の夕

イミングの年ということになります。ちなみに、干支は陰陽五行思想との結びつきが深く、それによると己と亥の組み合わせは相剋にあたり、片方が片方を弱めるという関係にあります。つまり、あふれんばかりの精力が自らのステップアップの機会を邪魔してしまい、調子に乗りすぎることによって落とし穴にはまって将来の大事なチャンスを失いかねないということです。調子に乗りすぎず、地道にコツコツと迷わず継続すれば、自ずと結果がついてくるということでしょうか。

平成の時代も残すところあと4か月余りとなりますが、2019年「己亥」が、皆さん一人ひとりにとって、大きく飛躍できる年になることを願ってやみません。

～校内マラソン大会～

11月22日（木）に校内マラソン大会が行われました。マラソン、駅伝ともどの学年も最後まで、一生懸命走りきりました。完走後は、保護者の方々が作って下さった温かい豚汁とおにぎりを食べ、身も心も暖かくなりました。ご協力・応援頂きまして、誠にありがとうございました。

<マラソン大会成績>

学年総合の部
優勝：1年生



～学校安全推進学校 優良賞受賞～

本校の学校安全活動について、長崎県教育委員会から優良賞をいただきました。日ごろの保護者、地域の皆様のご理解とご支援に感謝いたします。

今後も、生徒の健全育成を目指して活動を進めてまいります。ご協力をよろしくお願い致します。



～生徒会役員任命式～

12月3日（月）に生徒会役員任命式が行われ、生徒会長の坂本千奈さん、以下14名の1・2年生が生徒会役員に任命されました。11月に行われた生徒会役員選挙では、1・2年生が積極的に立候補してくれました。任命式では、旧生徒会役員は新生徒会役員への激励の言葉を、新生徒会役員は「生徒の代表」という立場への意気込みを述べてくれました。

新生徒会役員には、伝統を守りつつも新しい風を送り込んでもらいたいと思います。





～2年生修学旅行～

2年生は12月4日(火)から7日(金)までの4日間、修学旅行へ出かけました。1日目は道頓堀を散策し、堺タカシマヤの山月工房で蜻蛉玉のストラップを制作しました。2日目は京都で班別自主研修を行いました。3日目は大阪城を見学し、その後ユニバーサル・スタジオジャパンでは、雨が降る場面もありましたが、様々なアトラクションを大いに楽しみ、満喫することができました。そして最終日はセキスイハイム鳥栖工場を見学し、帰路につきました。4日間、大変充実した修学旅行となりました。



～校内百人一首大会～

12月19日(水)に毎年恒例の校内百人一首大会が行われました。各学年8つのグループに分かれて、15分間の試合を5試合行いました。今年度は5名の先生方が詠み手に挑戦し、それぞれ個性ある詠み方で会場を盛り上げました。生徒たちは、1枚でも多く取ろうと、全員が一生懸命になり、体育館には歓喜の音が響き渡りました。

個人成績上位10名が、1月10日(木)に行われる下五島地区百人一首大会に本校代表として出場します。

＜百人一首大会成績＞

学年総合の部
優勝：2年生



～球技大会～

12月20日(木)に球技大会が行われました。今回の種目はソフトバレーボールで、3年生にとっては最後の球技大会になりました。各学年とも冬の寒さに負けない、熱い戦いを見せてくれました。

＜球技大会成績＞

優勝：3年Eチーム
準優勝：1年Cチーム
3位：2年Bチーム



～12月下旬から1月の主な行事予定～

- 12月25日(火) 1・2年 冬季補習 <～27日(水)>
- 1月 7日(月) 登校学習 <1・2年生>
- 8日(火) 大掃除、全校集会、服装頭髪指導 ※ジャージ、各教科課題持参
- 10日(木) 1・2年 実力テスト(国・英・数)
- 15日(月) 下五島地区百人一首大会
- 15日(月) あいさつ運動<～18日(金)>
- 18日(金) 1・2年 三者面談 <～31日(木)>
- 23日(水) 1・2年 合同企業説明会
- 25日(金) 3年 学年末考査 <～28日(月)>
- 26日(土) 英検(1次)
- 29日(火) 看護模試、SPIテスト
- 30日(水) 3年 テスト返却 <～30日(水)>
- 31日(木) 3年 租税教室、大掃除 / 1・2年 民間講師招へい事業
- 31日(木) 3年 年金教室

○登校学習 <1・2年生> について

1月7日(月)は全員登校し、課題の進行状況の点検を行います。ご家庭でのご指導、ご協力のほどよろしくお願い致します。



ご相談やお気づきがあれば
いつでもご連絡ください。
五島南高校 電話 0959-82-0132
FAX 0959-82-0185

五島南高校メールメイトに是非ご参加
ください。以下のアドレスに空メールを
送ってご登録ください。
gotominami-t@m-mate.com



